

防災教育を軸とした教科横断的な学習（国語科）

1 単元名 5年生国語 たがいの立場を明確にして、話し合おう
「よりよい学校生活のために」

2 単元のねらい

互いの立場や意図を明確にしながらか計画的に話し合う活動を通して、相手との考えの違いを理解し、考えを広げたりまとめたりすることができる。

3 単元の指導について

<p>第1時</p>	<p>○ 地震による被害の写真等の資料から議題を決める。 議題「避難所生活で私たちができることは何か」</p>
<p>第2時</p>	<p>○ 議題に沿って自分の意見を明確にする。 ・ 避難所の様子を表した写真やイラストを見ながら、「現状と問題点」を挙げ、それに対する自分の考え（「どのようなことをしたらよいか」、「理由・根拠」）を明確にする。</p> <div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-left: 10px;"> <p>【現状と問題点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 避難所にお年寄りの方が大勢いる。 <p>【どのようなことをしたらよいか】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 力仕事を交代できるとよい。 <p>【理由・根拠】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ どうしたらよいか分からなくて困っていると思うから。 </div> </div>
<p>第3時</p>	<p>○ 話し合いの仕方を確かめ、進行計画を立てる。 ・ 話し合いを進めるための役割分担を決める。「考えを広げる話し合い」、「考えをまとめる話し合い」をポイントにして、進め方について計画する。</p>
<p>第4時</p>	<p>○ 計画に沿って、話し合いをする。考えをまとめるために、ロイロノートを使ってそれぞれの意見を整理する。 ○ 話し合った内容について、職員にも意見交流をする。</p> <div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-left: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ○ 避難所に耳が聞こえづらい人がいる。 ・ 周りの音が聞こえなくて状況が分からなくて不安に感じていると思う。 ・ 会話することで元気づけられると思う。 ○ 避難所には高齢者の方もいる。 ・ そばにいて、話を聞いてあげたり、してほしいことを伺ってみたりするとよいと思う。 ・ 自分たちが中心となってできることを探せるとよい。 ○ 幼い子どもがいる。 ・ 環境が変わって知らない場所では落ち着けず、心細いかもしれないから、一緒に遊んであげるとよい。 </div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>地域には、お年寄りの方も多いため、寄り添ってあげたり自分たちは自分たちにできることを考え、率先して行動したりできるとよいと感じた。</p> </div>

4 成果

7月に実施した防災教室（避難所設営訓練）を想起することで、「自分に何ができるか」を具体的なイメージをもって考えることができた。授業の終末で、話し合いを通してまとめた考えを職員とも意見交流をすることを通して、児童とともに職員の「防災」についての意識が高めることができた。